

令和2年度社会福祉推進事業

「包括的支援体制の整備に係る地域性を考慮した持続可能性の高い支援関係者間の  
連携方策や業務分担に関する調査研究事業」

## 地域共生社会実現のための 人材育成研修

13：30 開始予定です。

### 本日のワーク

## 「ケースで考える重層的相談支援 & 社会資源」

複雑化・複合化している住民の課題を、相談者ひとりで抱えこまず、他機関・多職種と連携して解決に向けて方策を考えるチームづくりが今後ますます必要となってきます。まずは今までのケースをふり返って、連携の成功要因や課題を検討し、苫小牧市において求められる相談支援のあり方について、研修で話し合しましょう。

令和2年度社会福祉推進事業「包括的支援体制の整備に係る地域性を考慮した持続可能性の高い支援関係者間の連携方策や業務分担に関する調査研究事業」  
**地域共生社会実現のための人材育成研修 第2回（2021年1月15日）「ケースで考える重層的相談支援&社会資源」 事前ワークシート**

複雑化・複合化している住民の課題を、相談者ひとりで抱えこまず、他機関・多職種と連携して解決に向けて方策を考えるチームづくりが今後ますます必要となってきます。まずは今までのケースをふり返って、連携の成功要因や課題を検討し、苫小牧市において求められる相談支援のあり方について、研修で話し合いましょう。

ご所属：

ご氏名：

(A) 連携して対応に成功したケース。「つながっていてよかったケース」

(B) 連携が難しかった／関知したが、解決に結びつかなかったケース。

(a) 上記ケースにおける連携の成功要因は何だったのでしょうか？

(b) 連携しなかった機関は？

(c) あったらよかった社会資源は？

## ワークショップ

13:35-14:10 グループディスカッション①

(A) 「連携して対応に成功したケース」

(a) 「連携の成功要因」

14:10-14:30 全体共有（1～2チーム程度）＋オブザーバーコメント

\* 振り返りシート記入時間含む

14:30-14:40 休憩

14:40-15:10 グループディスカッション②

(B) 連携が難しかった／関知したが、解決に結びつかなかったケース。

(b) 連携しなかった機関は？

(c) あったらよかった社会資源は？

15:10-15:30 全体共有（1～2チーム程度）＋オブザーバーコメント

15:30 終了・アンケート記入

### グループディスカッション①

- (A) 「連携して対応に成功したケース」
- (a) 「連携の成功要因」

### グループディスカッション②

- (B) 連携が難しかった／  
関知したが、解決に結びつかなかったケース。
- (b) 連携したかった機関は？
- (c) あったらよかった社会資源は？

について、  
共有し、ディスカッションしましょう！

令和2年度社会福祉推進事業

「包括的支援体制の整備に係る地域性を考慮した持続可能性の高い支援関係者間の  
連携方策や業務分担に関する調査研究事業」

## 地域共生社会実現のための 人材育成研修

13：30 開始予定です。

### 本日のワーク

#### 「会議・研修の業務効率化を考える」

さまざまな機関・支援者が連携して包括的に相談を受け止める体制を整備していくためには、各分野や部署で取り組んでいる活動についてお互いに理解を深めるとともに、一体的にあるいは連携して取り組んで業務を効率化したり相乗効果を生み出そうとする視点も重要になります。今回は、開催している会議・研修に着目して業務整理と効率化の検討を進めましょう。

## ワークショップ

13:30 開始・本日の進め方説明

13:40 グループワーク

- (1) 進行役・書記役の決定
- (2) 事前課題シートをグループで共有
- (3) ディスカッション

→出たアイデアについてグループで一つのシートにまとめる

14:20 休憩

14:30 公開メンタリング

15:15 各グループで内容ブラッシュアップ・感想共有

15:30 終了・アンケート記入

令和2年度社会福祉推進事業「包括的支援体制の整備に係る地域性を考慮した持続可能性の高い支援関係者間の連携方策や業務分担に関する調査研究事業」  
地域共生社会実現のための人材育成研修 第3回（2021年2月3日）業務効率化ワークショップ① 事前ワークシート

さまざまな機関・支援者が連携して包括的に相談を受け止める体制を整備していくためには、各分野や部署で取り組んでいる活動についてお互いに理解を深めるとともに、一体的にあるいは連携して取り組んで業務を効率化したり相乗効果を生み出そうとする視点も重要になります。今回は、開催している会議・研修に着目して業務整理と効率化の検討を進めましょう。

ご所属：

ご氏名：

ご所属の機関・部署が主催または出席している会議・研修について、ご記入ください。（行が足りない場合は、適宜増やしてください。）

	会議・研修名	趣旨・目的	対象	回数	法定・市独自・自主	重要度
						（主観で構いません） 重要度が伝える情報の優先順位付けなどが難しい
会議	例) 連絡調整会議	包括と自治体との情報共有	介護支援課・包括職員	月1回	市独自	
研修・セミナー	例) 事例検討会	多角的視点による支援の質向上	相談支援関係者	月1回	自主	多職種連携を推進しており重要

※本シートは、各自記入の上、当日ご持参ください。

※研修終了後、本シートは回収いたします。控えが必要な方は、あらかじめコピーするなどして複数枚ご持参ください。

※回収したシート内容は、所属・記入者氏名等は非公表とし、今後の包括的支援体制整備に向けた支援関係者間の連携に関する協議の資料として活用いたします。



【メンタリングメモ】

Dグループ：子供、包括、社協、ワーカーズ

●（32機関参集）：

子供、保健師、発達、保育、医師会、歯科医師会、小学校中学校長会、など...

→児童に関する事なので18歳未満。

※背景が複雑化しているので、以前はシンプルな事象だったが、今はボーダレス。

具体的にどの会議と統合、というところまでは議論できていないが、課題意識は共有できた。

●ゴミ屋敷問題なども、分野を超えて関わる機会がある。

時系列的に把握して対応していく必要がある、という話が出た。

●包括が訪問したら、ひきこもりの息子がいた、などの8050問題。

ボーダーを引くのが難しいという意見が出た。

誰かが手を出していれば、もうちょっといい方向に行けたのに.....。

●生活支援CO：同部署にCSWもいる。同行して個別支援に入り、ニーズが見えてきた。

年齢による区分はないが、高齢関係が多め。

障害などに、つなぐということももちろんやるが、家族という単位で見た時に、同時に働きかけをしていく必要性を感じ、なるべく一緒に入る、ということをしている。

子ども分野の会議についてはあまり知らなかったのが、知られてよかった。

休憩

14:30まで

本日はありがとうございました！

①事前課題シート

②アンケート

③グループワークシート

は机に置いてご退出ください。

令和2年度社会福祉推進事業

「包括的支援体制の整備に係る地域性を考慮した持続可能性の高い支援関係者間の  
連携方策や業務分担に関する調査研究事業」

## 地域共生社会実現のための 人材育成研修

13：30 開始予定です。

### 本日の流れ

- 13:30 開始・本日の流れ説明
- 13:40 事例検討ワーク
- 14:10 効率化ワークショップ【事業】
- 14:40 休憩
- 14:50 全体発表（2～3グループ）・コメント
- 15:30 終了・アンケート記入

## 本日のワーク

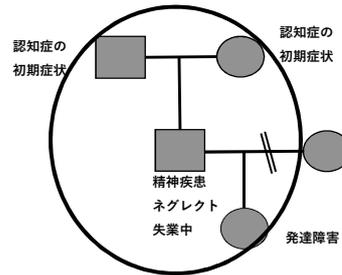
### 「事務・事業の効率化を考える」

さまざまな機関・支援者が連携して包括的に相談を受け止める体制を整備していくためには、各分野や部署で取り組んでいる活動についてお互いに理解を深めるとともに、一体的にあるいは連携して取り組んで業務を効率化したり相乗効果を生み出そうとする視点も重要になります。今回は、事務についてはICTの活用等に、事業については「参加支援」「地域づくりに向けた支援」を念頭に、業務整理と効率化の検討を進めましょう。

## その前に、ちょっと 事例検討ワーク

## 事例

ある日、相談窓口に、  
次のような相談がありました。



認知症の初期症状がある80代夫婦。  
息子はひとり親・失業中の精神疾患を患った男性。  
孫は発達障害の不登校。  
息子は孫に対してネグレクト状態で、祖父母がずっと  
孫の世話をしていたが、認知症によりそれが難しく  
なってきた。

### 事例検討ワーク

あなたなら、どうしますか？

誰（どの機関）と何をしますか？

- ①グループで一人ずつ、意見を話す（20分）
- ②意見交換からの気付き  
コメンテーターからのグループインタビュー（10分）

(事例検討ワークのねらい)

★他の分野・専門性の方の視点や行動を知る。

★相談者にとっても、支援者にとっても、  
安心できる環境・対応について考える。

## 本日のワーク

### 「事務・事業の効率化を考える」

さまざまな機関・支援者が連携して包括的に相談を受け止める体制を整備していくためには、各分野や部署で取り組んでいる活動についてお互いに理解を深めるとともに、一体的にあるいは連携して取り組んで業務を効率化したり相乗効果を生み出そうとする視点も重要になります。今回は、事務についてはICTの活用等に、事業については「参加支援」「地域づくりに向けた支援」を念頭に、業務整理と効率化の検討を進めましょう。

令和2年度社会福祉推進事業「包括的支援体制の整備に係る地域性を考慮した持続可能性の高い支援関係者間の連携方策や業務分担に関する調査研究事業」  
地域共生社会実現のための人材育成研修 第4回（2021年2月12日）業務効率化ワークショップ② 事前ワークシート

さまざまな機関・支援者が連携して包括的に相談を受け止める体制を整備していくためには、各分野や部署で取り組んでいる活動についてお互いに理解を深めるとともに、一体的にあるいは連携して取り組んで業務を効率化したり相乗効果を生み出そうとする視点も重要になります。今回は、事務についてはICTの活用等に、事業については「参加支援」「地域づくりに向けた支援」を念頭に、業務整理と効率化の検討を進めましょう。

ご所属：

ご氏名：

事務について

必要性が低いと感じる事務

効率化したい事務

効率化のアイデア（ICTの活用等）

事業について（特に、参加支援・地域づくりに向けた支援に関するものについて）

現在、どのような事業を実施していますか？

領域を超えた協働・展開のアイデア

※本シートは、各自記入の上、当日ご持参ください。

※研修終了後、本シートは回収いたします。控えの必要な方は、あらかじめコピーするなどして複数枚ご持参ください。

※回収したシート内容は、所属・記入者氏名等は非公表とし、今後の包括的支援体制整備に向けた支援関係者間の連携に関する協議の資料として活用いたします。

## 事業効率化ワークショップ

- ①グループ内で進行役・書記役を決めてください。
- ②各自の事前課題シートの下部「事業について」の部分を発表  
（一人2分程度）  
★書記役は、ふせんにペンで概要を書いてA3用紙に貼ってください。
- ③「どこともつながれなくて困っている人」についても、話してもらおう。他事業所の資源とマッチングできそう？  
「社会資源の共有」の視点で話してみましよう！

④全体発表

- ・ いいアイデア（2つ程度）
- ・ 発想が難しいところ

- ・ つながらないと解決できない（資源の一体的活用）
- ・ つながっても解決できない（社会資源の不足）

厚生労働省生活困窮者就労準備支援事業費等補助金 社会福祉推進事業  
「地域共生社会実現のための人材育成研修」参加者アンケート

本日はお忙しい中ご参加頂きまして、誠にありがとうございました。よろしければ、本日の研修会に関するアンケートにご協力ください。(ご記入いただいた内容は、北海道医療大学先端研究推進センターにて管理いたします。)

1. 本日の講演の分かりやすさについて、お聞かせください。(該当部分に○をつけてください)

(1) 政策説明「地域共生社会の目指すところ」

分かりにくかった                      ふつう                      分かりやすかった  
1   -   2   -   3   -   4   -   5

(2) 事例紹介「包括的支援体制整備と専門職のこれから」

分かりにくかった                      ふつう                      分かりやすかった  
1   -   2   -   3   -   4   -   5

2. 地域共生社会の理念について

(1) 基本的な考え方について理解出来ましたか。(いずれかに○をつけてください)

①理解出来た      ②ある程度理解できた      ③あまり理解できなかった      ④理解できなかった

(2) ご自分の活動地域では、地域共生社会の実現に向けた取り組みが必要だと思いませんか？

①とても必要だと思う      ②まあ必要だと思う      ③あまり必要だと思わない      ④必要だと思わない

3. 苫小牧市において地域共生社会の実現を推進するにあたって、課題と思うことがあれば教えてください。

4. 上記の課題に対して、解決のための取り組みのアイデアがあれば教えてください。

5. 差し支えなければ、ご所属・ご氏名を教えてください。

ご所属：

ご氏名：

ご協力ありがとうございました

地域共生社会実現のための人材育成研修第2回「ケースで考える重層的相談支援&社会資源」  
振り返りワークシート

- (A) (a) 連携して対応に成功したケースの成功要因について、  
チームで議論した内容や、重要だと思ったポイントを記入してください。

- (B) 連携が難しかった／関知したが、解決に結びつかなかったケースについて、  
(b) (c) に関する議論の内容や、重要だと思ったポイントを記入してください。

(b) 連携しなかった機関について

(c) ほしかった社会資源について

2021年1月15日(金)

厚生労働省生活困窮者就労準備支援事業費等補助金 社会福祉推進事業  
「地域共生社会実現のための人材育成研修」参加者アンケート

本日はお忙しい中ご参加頂きまして、誠にありがとうございました。よろしければ、本日の研修会に関するアンケートにご協力ください。(ご記入いただいた内容は、北海道医療大学先端研究推進センターにて管理いたします。)

1. 研修への取り組みの振り返り ((1)、(2) はいずれかに○印、(3) は記述式)

(1) 事前課題シートへの記入

出来なかった                      ふつう                      十分出来た  
1   -   2   -   3   -   4   -   5

(2) グループでの情報共有・意見交換

不十分                      ふつう                      十分できた  
1   -   2   -   3   -   4   -   5

(3) 全体を通しての気付きや、発見出来た課題、今後自部署で行っていきたい取り組みなど

2. 研修運営・教材に関する評価

(1) 事前課題シートについて (いずれかに○)                      ①わかりやすかった                      ②普通                      ③分かりにくかった

\*シートに関する改善点等がありましたらお聞かせください。

(2) 当日進行について (いずれかに○)                      ①わかりやすかった                      ②普通                      ③分かりにくかった

\*当日進行に関する改善点等がありましたらお聞かせください。

5. 差し支えなければ、ご所属・ご氏名を教えてください。

ご所属：

ご氏名：

ご協力ありがとうございました

2021年2月3日(水)

厚生労働省生活困窮者就労準備支援事業費等補助金 社会福祉推進事業  
「地域共生社会実現のための人材育成研修」参加者アンケート

本日はお忙しい中ご参加頂きまして、誠にありがとうございました。よろしければ、本日の研修会に関するアンケートにご協力ください。(ご記入いただいた内容は、北海道医療大学先端研究推進センターにて管理いたします。)

1. 研修への取り組みの振り返り ((1)、(2) はいずれかに○印、(3) は記述式)

(1) 事前課題シートへの記入

出来なかった                      ふつう                      十分出来た  
1   -   2   -   3   -   4   -   5

(2) グループでの情報共有・意見交換

不十分                      ふつう                      十分できた  
1   -   2   -   3   -   4   -   5

(3) 全体を通しての気づきや、発見出来た課題、今後自部署で行っていきたい取り組みなど

2. 研修運営・教材に関する評価

(1) 事前課題シートについて (いずれかに○)                      ①わかりやすかった                      ②普通                      ③分かりにくかった

\*シートに関する感想や改善点等がありましたらお聞かせください。

(2) 当日進行について (いずれかに○)                      ①わかりやすかった                      ②普通                      ③分かりにくかった

\*当日進行に関する感想や改善点等がありましたらお聞かせください。

5. 差し支えなければ、ご所属・ご氏名を教えてください。

ご所属：

ご氏名：

ご協力ありがとうございました

2021年2月12日(金)

厚生労働省生活困窮者就労準備支援事業費等補助金 社会福祉推進事業  
「地域共生社会実現のための人材育成研修」参加者アンケート

本日はお忙しい中ご参加頂きまして、誠にありがとうございました。よろしければ、本日の研修会に関するアンケートにご協力ください。(ご記入いただいた内容は、北海道医療大学先端研究推進センターにて管理いたします。)

1. 研修への取り組みの振り返り ((1)、(2) はいずれかに○印、(3) は記述式)

(1) 事前課題シートへの記入

出来なかった                      ふつう                      十分出来た  
1   -   2   -   3   -   4   -   5

(2) グループでの情報共有・意見交換

不十分                      ふつう                      十分できた  
1   -   2   -   3   -   4   -   5

(3) 全体を通しての気づきや、発見出来た課題、今後自部署で行っていききたい取り組みなど

2. 研修運営・教材に関する評価

(1) 事前課題シートについて (いずれかに○)                      ①わかりやすかった                      ②普通                      ③分かりにくかった

\*シートに関する感想や改善点等がありましたらお聞かせください。

(2) 当日進行について (いずれかに○)                      ①わかりやすかった                      ②普通                      ③分かりにくかった

\*当日進行に関する感想や改善点等がありましたらお聞かせください。

### 3. 全4回（11月～2月）の研修の振り返り

（1）困難を抱える当事者・家族を支援するにあたって、これから必要となる基本的な考え方について、理解出来ましたか？

- ①理解できた      ②ある程度理解できた      ③あまり理解できなかった      ④理解できなかった

（選択の理由）

（2）基本的な考え方を、所属機関・関係者に説明できるようになりましたか？

- ①説明できるようになった      ②ある程度説明できるようになった  
③あまり説明できるようにならなかった      ④説明できるようにならなかった

（選択の理由）

（3）これまで学んだことや気づきを、日々の業務での実践（困難を抱える当事者・家族への支援や関係者への相談など）に活かしていくことができますか？

- ①活かしていくことができる      ②ある程度活かしていくことができる  
③あまり活かすことができない      ④活かすことができない

（選択の理由）

（4）上記について、どのような場面で活かしていくことが出来そうですか？

（5）研修を通して、今後、さらに関係者間で話し合いが必要だと思ったことについて教えてください。

4. 差し支えなければ、ご所属・ご氏名を教えてください。

ご所属：

ご氏名：

ご協力ありがとうございました

地域共生社会実現のための人材育成研修 第2回（2021年1月15日）「ケースで考える重層的相談支援&社会資源」 事前ワークシート

複雑化・複合化している住民の課題を、相談者ひとりで抱えこまず、他機関・多職種と連携して解決に向けて方策を考えるチームづくりが今後ますます必要と  
なってきます。まずは今までのケースをふり返って、連携の成功要因や課題を検討し、苫小牧市において求められる相談支援のあり方について、研修で話し合  
いましょう。

ご所属：

ご氏名：

(A) 連携して対応に成功したケース。「つながっていてよかったケース」

(B) 連携が難しかった／関知したが、解決に結びつかなかったケース。

(a) 上記ケースにおける連携の成功要因は何だったのでしょうか？

(b) 連携したかった機関は？

(c) あったらよかった社会資源は？

※本シートは、各自記入の上、当日ご持参ください。

※研修終了後、本シートは回収いたします。控えの必要な方は、あらかじめコピーするなどして複数枚ご持参ください。

※回収したシート内容は、所属・記入者氏名等は非公表とし、今後の包括的支援体制整備に向けた支援関係者間の連携に関する協議の資料として活用いたします。

## 地域共生社会実現のための人材育成研修 第3回（2021年2月3日）業務効率化ワークショップ① 事前ワークシート

さまざまな機関・支援者が連携して包括的に相談を受け止める体制を整備していくためには、各分野や部署で取り組んでいる活動についてお互いに理解を深めるとともに、一体的にあるいは連携して取り組んで業務を効率化したり相乗効果を生み出そうとする視点も重要になります。今回は、開催している会議・研修に着目して業務整理と効率化の検討を進めましょう。

ご所属：

ご氏名：

ご所属の機関・部署が主催または出席している会議・研修について、ご記入ください。（行が足りない場合は、適宜増やしてください。）

	会議・研修名	趣旨・目的	対象	回数	法定・市独自・自主	重要度 (主観で構いません) 重要だが伝える情報の優先順位付けなどが難しい
会議	例) 連絡調整会議	包括と自治体との情報共有	介護支援課・包括職員	月1回	市独自	重要だが伝える情報の優先順位付けなどが難しい
研修・ セミナー	例) 事例検討会	多角的視点による支援の質向上	相談支援関係者	月1回	自主	多職種連携を推進しており重要

※本シートは、各自記入の上、当日ご持参ください。

※研修終了後、本シートは回収いたします。控えの必要な方は、あらかじめコピーするなどして複数枚ご持参ください。

※回収したシート内容は、所属・記入者氏名等は非公表とし、今後の包括的支援体制整備に向けた支援関係者間の連携に関する協議の資料として活用いたします。

## 地域共生社会実現のための人材育成研修 第4回（2021年2月12日）業務効率化ワークショップ② 事前ワークシート

さまざまな機関・支援者が連携して包括的に相談を受け止める体制を整備していくためには、各分野や部署で取り組んでいる活動についてお互いに理解を深めるとともに、一体的にあるいは連携して取り組んで業務を効率化したり相乗効果を生み出そうとする視点も重要になります。今回は、事務についてはICTの活用等に、事業については「参加支援」「地域づくりに向けた支援」を念頭に、業務整理と効率化の検討を進めましょう。

ご所属：

ご氏名：

### 事務について

必要性が低いと感じる事務	
効率化したい事務	効率化のアイデア（ICTの活用等）

### 事業について（特に、参加支援・地域づくりに向けた支援に関するものについて）

現在、どのような事業を実施していますか？	領域を超えた協働・展開のアイデア

※本シートは、各自記入の上、当日ご持参ください。

※研修終了後、本シートは回収いたします。控えの必要な方は、あらかじめコピーするなどして複数枚ご持参ください。

※回収したシート内容は、所属・記入者氏名等は非公表とし、今後の包括的支援体制整備に向けた支援関係者間の連携に関する協議の資料として活用いたします。